

都市計画道路瀬戸大府東海線の変更及び決定に関する説明会 議事概要

1 日時

令和7年8月23日（土） 午前10時から午前10時50分まで

2 会場

幡山公民館

3 参加人数

27人

4 議事概要

<開会>

<瀬戸市都市計画課長あいさつ>

<都市計画変更概要説明>

愛知県尾張建設事務所道路整備課より配布資料に基づき説明

<質疑応答>

<◆質疑①-1>

都市計画のスケジュールについて、都市計画案の縦覧期間の2週間は、いつからいつまでか。また、用地交渉・用地買収の具体的な時期と工事着手するまでの期間は、どのぐらいを見込んでいるのか。具体的な数字で教えてほしい。

<愛知県>

都市計画案の縦覧期間については、確定した日付を申し上げることができない。11月頃を予定している。

<◆質疑①-2>

それはどのように告知されるのか。

<瀬戸市>

瀬戸市の広報に掲載する。また、ホームページでも公表する。

<愛知県>

用地測量が始まる時期だが、全てのスケジュールが予定通り進んだ場合には、来春以降において用地測量に関する事業説明会を開催し、その後、測量に着手する予定である。

<◆質疑①-3>

現段階で予定が立ってないのはおかしいのではないか。

<愛知県>

まず、都市計画の変更を滞りなく済ませる必要があるので、概ね3月ぐらいまでは都市計画のスケジュールに沿い、都市計画の変更を進める。その上で来春の作業になるが、現在、長久手市内において4車線の道路をつくる工事を行っており、継続して長久手と瀬戸の境の区間でも、事業を始め

ていきたい意向を持っている。

〈◆質疑②-1〉

幡西町の交差点はどのような形状になるのか。

＜愛知県＞

山の田交差点と同様に、28mの幅員で右折車線と自転車通行帯ができる計画である。

〈◆質疑③-1〉

幡西町の交差点は、交差する都市計画道路を想定して、交差点を作ると思うが、交差する道路を作るときは、また交差点を変えるのか。

＜愛知県＞

交差する都市計画道路である第3環状線については、事業化されていない。国道155号線のバイパスにあたる道路で、現在県では一宮から小牧を通り、春日井インターチェンジ辺りへ向けて事業を進めている。そこよりも第三環状線は東側の区間になるので、そちらはまだ整備をしていく段階になっていないのが実情である。計画がなくなったのではなく、第3環状線においては、令和5年度に瀬戸市において、都市計画道路の見直し業務を実施した結果、市内の道路ネットワークを形成する重要な路線であるため、今後の整備に向けて車線数や幅員、交差点の形状などについて検討していくことになっている。まずは、瀬戸市と長久手市を結ぶ瀬戸大府東海線の整備を先行して行い、当面の間の整備においては、既存の幡西町交差点に右折車線を設けて、皆様に利用いただける形で整備をしたいと考えている。

〈◆質疑③-2〉

わかりました。

道路工事が始まってから長久手の大草まで車を走らせたいときに、車は走れる状態か。それとも通行止めになるのか。

＜愛知県＞

工事の状況に応じて、道路の切り回しをする必要が生じる可能性等があるので、現時点においては、工事期間中に現道を走ることができる約束はできかねるが、基本的には通れる状態で工事を進めていくものと考えている。一時的に橋の架け替え等、夜間の通行止めをすること等があるかもしれないが、基本的には通行止めにならないように施工する考えである。

○情報提供

＜愛知県＞

愛知県尾張建設事務所より都市計画変更の説明の場を借りて1点お知らせする。設計の精度をより高める必要等があるため、今年度の後半、9月中旬以降より現地の測量の案内後、順次測量に着手したいと考えている。詳細な測量範囲については、後日改めて関係者様へ回覧・周知によりお示しする。また、測量では必要に応じて土地への立ち入りを予定しているので、ご理解とご協力をお願いする。

〈◆質疑④-1〉

その測量は、土地取引のための確定測量・用地測量か。

〈愛知県〉

用地測量ではなく、設計を進めていくための路線測量である。

〈◆質疑④-2〉

確定測量は来春以降にやるのか。

〈愛知県〉

そうである。用地の境界を測る測量ではなく、道路の設計をするにあたり、地形を詳細に確かめる必要があるほか、建物の位置等を確認するための測量だと認識いただきたい。

〈閉会〉